

県との意見交換

2020年11月6日、福岡・秋田県人会の役員と秋田県福岡事務所が意見交換会をしました。県から佐藤朋弘所長や小野貴久次長、羽沢勝己副主幹の3名。県人会から今野正春事務局長、麻生敏雄理事、奥平真澄理事、小池敦子理事、福岡あゆみ理事、中村の6名が参加しました。



佐藤所長から秋田県の現状について、説明がありました。高校卒業者の県内就職率が上昇していること、コロナ禍の中で、移住者も増えており、40歳以下が8割近くで、林業への進出が目立つと説明がありました。農産物関係では、新しいコメの品種「秋系821」のブランド名を「サキホコレ」としたこと、秋田産の枝豆が京浜地区でトップブランドになったこと、交通体系では、秋田新幹線の秋田—盛岡間に新しい仙岩トンネルを構想中であることが説明されました。

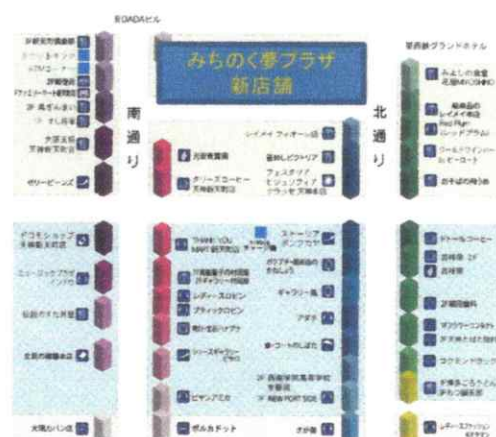
～みちのく夢プラザ移転のおしらせ～

秋田・青森・岩手3県で運営する福岡市中央区天神のアンテナショップ「みちのく夢プラザ」(1999年2月開業)が、2021年(令和3年)4月1日(木)から近くの新天町商店街の新店舗に移転開業します。天神地区の再開発「天神ビッグバン」に伴って、現在、入居中のビルが建て替えられる為です。

新店舗は、新天町の北通、南通を西に向かって突き当りで横長の1等地、以前は地元の衣料品雑貨店、寿司店が入居していました。

店舗は3階建て、延べ床面積は、約320㎡で、1階2階が店舗になります。移転準備の為、3月14日で一旦、閉店します。

4月14日には、秋田県知事も出席して移転開業イベントを行う予定です。また、3県の職員8人(内、秋田県は3人)が勤務する合同事務所は、西通りの三越岩田屋から新雁林町通りを1軒西に入った「天神大名ビルⅡ」の7階ワンフロア約140㎡に入居します。新合同事務所は3月15日から業務を開始します。



東海林太郎・直立不動像、除幕へ

昭和の国民的歌手、東海林太郎の直立不動像(写真は、鋳型の原形になる木彫)が完成し、新装なった秋田市文化創造館(元秋田県立美術館)そばで、3月20日、除幕式が行われます。

直立不動像は、秋田市にある東海林太郎音楽館などが中心になって建立委員会を設立し、募金活動をしていました。これまでは、秋田県民会館そばに東海林太郎の胸像がありましたが、県民会館も建て替え中です。

